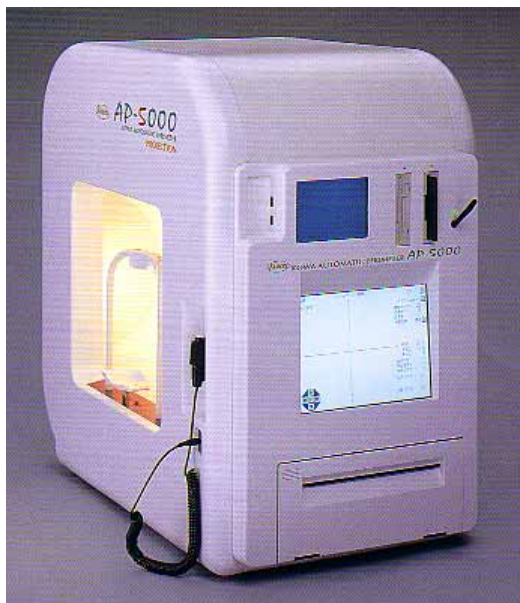


機械器具 2 2 検眼用器具
一般医療機器 自動視野計 JMDN コード：16918001

オートマチックペリメーター AP-5000

【形状、構造及び原理等】



1. 構成
本装置（オートマチックペリメーター AP-5000）は、本体・付属品（電源コード、応答スイッチ）から構成されており、各ユニットは本体に組み合わせて使用されます。
2. 体に接触する部分の組成
あご台 アルミ合金
ヒタイ当て 合成樹脂
応答スイッチ 合成樹脂
3. 電氣的定格
入力相数 交流単相
入力電圧 100V
電源入力（消費電力） 300VA
4. 機器の分類
1) 電撃に対する保護の形式
クラスⅠ機器
2) 電撃に対する保護の程度による装着部
B 形装着部
5. 寸法及び質量
724 mm(W)×440 mm(D)×720 mm(H)/48 kg
6. 作動動作原理
1) 作動調光回路によりコントロールされるランプで一様に照明されたドーム上に、投影ランプを光源とする視標が投影されます。
2) 視標投影条件で、大きさはターレット上の穴の大きさで決めます。色及び輝度はターレット上の色フィルター及びNDフィルターによって決めます。ピントはフォーカシングレンズを動かすことで行います。呈示時間はシャッターが光路をあけている時間で決めます。位置はプロジェクターミラー及びプロジェクターレンズを水平及び垂直方向に回転させることで行います。投影される順序は、制御回路のプログラムにより決められます。
3) AC100V 電源に装置の入力コードを接続し電源スイッチを入れると、検査に必要な設定事項が操作

用タッチパネルに表示されます。

- 4) 検査者は、一定手順に従って操作用タッチパネルに表示されるプログラムやパラメータを選択及び設定します。
- 5) 検査が始まると制御回路により、定められたパラメータで順次投影します。投影する位置は操作用タッチパネルに表示されます。
- 6) 被検査者は、ドーム中央の発光ダイオードを固視した状態で投影された視標が確認できたら押しボタンスイッチで応答します。制御回路は応答の有無をチェックし記憶します。
- 7) 所定の検査が終わると検査結果を操作用タッチパネル上に表示し、プリンターに出力又はフロッピーに保存ができます。

【使用目的、効能又は効果】

様々な位置に自動的に表示した小さな光点に対する、患者の反応を測定し、記録するために使用する。

【品目仕様等】

主な仕様

視標呈示方式	： 投影式
視標色	： 白、赤、青、緑
視標サイズ	： ゴールドマンⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ 相当
視標輝度	： 0.03～3,183 cd/m ²
視標呈示時間	： 0.2 秒
背景輝度	： 10 cd/m ²
固視標	： LED（赤色）
固視監視	： 液晶モニター
操作方法	： タッチパネル

詳細は、取扱説明書をご参照下さい。

【操作方法又は使用方法等】

- 1) 装置を半暗室内の適当な高さの机又は、光学台に設置する。
- 2) 電源コードを 100V のコンセントに差し込み、電源スイッチを ON にする。
- 3) 被検査者を所定の位置に座らせ、1～2 分間装置のドームの明るさに順応させる。固視監視用液晶で、被検査眼が正しく中心にくるように操作用タッチパネルを使用しあご台位置を合わせる。被検査者には眼を動かさないで正しく中心の固視標を見つめるように指示する。
- 4) 操作用タッチパネルに映し出された検査プログラムの中から、検査に必要なプログラム及び検査条件を選択する。
- 5) 検査プログラムにより、予め決められた視標がドーム内に投影される。
- 6) 被検査者が視標の点灯を確認したら、応答スイッチで答えさせる。
- 7) 被検査者の応答の結果は、操作用タッチパネルに表示される。必要に応じて、検査結果を印字又は、フロッピーに保存する。
- 8) 専用コネクタ（RS232C）を使用することで、外部にデータを出力することができる。

詳細は、取扱説明書をご参照下さい。

取扱説明書を必ずご参照下さい

【使用上の注意】

(一般的な注意事項)

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置する時は、次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に設置すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、硫黄分を含んだ空気等により悪影響を生じる恐れのない場所に設置すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)等の安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - 5) 電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意すること。
 - 6) 電池電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
 - 7) アースを正しく接続すること。
3. 機器を使用する前は、次の事項に注意すること。
 - 1) スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メータ類などの点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
 - 2) アースが完全に接続されていることを確認すること。
 - 3) すべてのコードの接続が正確で、かつ完全であることを確認すること。
 - 4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこす恐れがあるので充分注意すること。
 - 5) 患者に直接接続する外部回路を再点検すること。
 - 6) 電池電源を確認すること。
4. 機器の使用中は、次の事項に注意すること。
 - 1) 診断治療に必要な時間、量を越えないようにすること。
 - 2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - 3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者には安全な状態で機器の作動を止めるなどの適切な措置を講ずること。
 - 4) 機器に患者が触れることのないように注意すること。
5. 機器の使用後は、次の事項に注意すること。
 - 1) 定めた手順により操作スイッチ、ダイヤル等を使用前の状態に戻したのち電源を切ること。
 - 2) コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
 - 3) 付属品、コード、導子等は清浄したのち整理してまとめておくこと。
 - 4) 機器は、次回の使用に支障のないように必ず清浄しておくこと。
6. 故障した時は、勝手にいじらずに適切な指示を行い、修理は専門家にまかせること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 取扱説明書に書かれている注意事項を熟読し、遵守すること。
9. 使用環境
 - 温度： 10℃～40℃
 - 湿度： 30%～75%
 - 気圧： 700 hPa～1060 hPa

(当該装置固有の基本的注意事項)

あご台を移動する時は、被検者の手をはさまないように注意すること。
〔被検者が負傷する恐れがあります。〕

(その他の注意事項)

この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼して下さい。

詳細は、取扱説明書を熟読し、遵守して下さい。

【貯蔵・保管及び使用期間等】

1. 貯蔵方法は、使用上の注意を参照。
2. 有効期間(耐用期間)は、正規の保守点検を行った場合に限り5年間です。(自己認証[当社データ]による。)
3. 環境条件
 - 温度： -15℃～+60℃
 - 湿度： 10%～95% (結露なきこと)
 - 気圧： 700 hPa～1060 hPa
4. 保管場所については次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に保管すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響を生じる恐れのない場所に保管すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守点検に係る事項】

(使用者による点検事項)

1. 電源コードに傷、破損がないことを目視で確認する。
2. 外装に傷、割れ、破損、変形、錆がないことを目視で確認する。
3. 銘板に汚れ、剥がれがないことを目視で確認する。
4. 操作タッチパネル、応答スイッチ、アゴ台、被検眼の切替、固視監視モニターが正しく動作することを確認する。
5. ドーム内に視標が呈示されることを確認する。
6. プリンター用紙が確実にセットされており、残量が適切であることを確認する。

(保守点検に係るその他の注意事項)

1. 医用機器の使用・保守の管理責任は使用者にあります。
2. 日常点検、定期保守点検は必ず行って下さい。
3. しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認して下さい。
4. なお、使用者自ら定期点検ができない場合は、弊社サービス部門の関連会社で受託することができます。

詳細は、取扱説明書をご参照下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

(製造販売業者)

興和株式会社 電機光学事業部
東京都中央区日本橋本町 3-4-14
TEL(03)3279-7334
FAX(03)3279-7541

(製造業者)

株式会社 オノックスエムティーティー
静岡県浜松市新原 1273-8